



## 城星学園の奉仕活動特集 第一段

先日は豪雨が降りましたが、いかがお過ごしでしょうか。  
今回のマリアレポートは、城星学園の奉仕活動特集、第一段として、「あしなが学生募金」と「おにぎりデー」について、宗教行事の感想、高校二年生の部員による自己紹介、季節のお便りをお送りします。

### あしなが学生募金 参加報告

JR京橋駅で5月のはじめに行われた「あしなが学生募金」に学生ボランティアとして城星学園中学校・高等学校の生徒数名が参加しました。

あしなが学生募金とは災害・病気などで親を失った子供たちを支援するための募金です。

私たち参加者は募金箱を持って、通行人の方々に支援をお願いしました。たくさんの方が足を止めて寄付してくださいました。そのときに「おつかれさま」や「がんばってね」など温かいことばをボランティアである私たちにかけてくださいました。

自分達と同世代の子供たちのための活動はとてもやりがいを感じ、ボランティアをすることの大切さや楽しさを味わうことができました。

まだ、ボランティアに参加したことがない人はぜひ一度参加してみたいかがでしょうか。

私は今回のあしなが学生募金は初めてのボランティア活動でしたが、これで終わりにはせず、これからも色々なものに参加してみようと思いました。

高三 アシステンツァ・エリノ

受けるよりは与えるほうが幸いである

使徒言行録 二〇章 三五節より

## おにぎりデー

### 各クラスでがんばっています

城星学園中学校・高等学校では、毎月一度おにぎりデーを設けています。おにぎりデーでは、経済的な支援が必要とする様々な人々に対して、「自らも痛みを共感し、募金をしよう」という趣旨のもと、その日のお弁当はおにぎりのみにし、おかず分の金額を募金する取り組みです。

二〇一一年以降は、毎年、主に大船渡の被災地の人々のための募金として城星学園の設立母体である「サレジアン・シスターズ日本管区」が設置している「管区サポートセンター」を通し、地元の方々の協力のもと、実施してきました。特に、一人暮らしのお年寄りや支援が行き届いていないと考えられる人々の生活に必要な物資のために使用していただいています。

今年度からは先述の活動に加え、サレジアン・シスターズ日本管区のNGO団体「VIDES」を通して、カンボジアの貧困家庭の子供たちの学資援助を行います。

この日は各クラスで貯金箱が用意されます。その貯金箱に生徒達が思い思いの額を入れていきます。チャリン、という音が教室で聞こえるようになります。その貯金箱の中身を募金します。

昨年度の合計金額は一六万四八〇四円でした。今回、おにぎりデーについて調べ、教室の風景を思い出すと、一人ひとりの力は少しでも、学校全体で取り組むことで、大きな額になることを感じました。

次回のおにぎりデーは七月四日(水)です。一人ひとりの力は少しでも、みんなで力を合わせれば大きな力になることを信じて私達もがんばります。

高二 局員一同



僕達は実際に使用されている貯金箱です。これからもよろしくお願ひします。

# ろうりの聖母祭

五月十一日(金)、大阪カテドラル聖マリア大聖堂で聖母祭ミサが行われました。

今年の徳の花のテーマは「隣人を自分のように愛する」でした。このテーマとその日の実行を心にとめ、普段よりも1日を大切に過ごし、ミサにのぞみます。学校とは違う場所で行うことによって心を落ち着け、日々の生活を振り返りながらミサに参加します。

聖母祭ミサはキリスト教の学校特有の行事で、他の学校では経験せることができない貴重な体験だと思います。そのミサに参加することによって勉強や悩みから一旦はなれ、心を改めることはすごく大切なことだと思います。私たち3年生はこの聖母祭ミサで最後の大聖堂で行われるミサでしたが、この大切な行事がいつまでも良い雰囲気で行われてほしいと思います。

高三 ジャック

## 編集長のろうり(編集後記)

こんにちは。じつとりと湿気がからだにまとわり付いて、すっきりしない天気が続いていますが、みなさんはいかがお過ごしでしょうか。

こんな天気の時期ですが、暦ではもうすぐ五節句の「七夕」がやってきますね。様々な飾りや短冊をつるされた笹がさらさらと風になびく様子は夏の風物詩として私達の目を楽しませてくれます。

「七夕」は様々な文化が混ざり合って現在の形になりました。織姫と彦星の物語をもとにした、中国の「乞巧奠(きつこうでん)」や日本の「棚機(たなばた)」などもルーツになっています。もともとは織女(織姫)にあやかり、機織りや裁縫の上達を祈る行事であったが、次第に芸事やそのほかの願いをするものへと変化していきました。とくに中国では、織女を祭り、細やかなこころと器用な手先を得て、良縁が得られるように祈っていたとされています。

機織りや裁縫は人の衣食住の衣と直接関係があります。衣食住を整えることはやはり人間にとって大きなテーマなのかもしれませんね。

## 城星学園報道局、局員紹介

今回は高校2年生の局員の自己紹介を掲載します。こんな仲間と一緒にがんばってみませんか？ 今回の自己紹介の内容は①～⑤です。

- ① ペンネーム  
趣味
- ② オススメの本・映像作品
- ③ その理由
- ④ 10年後の自分、想像図

- ① ユリンカーン
- ② 音楽を聴く、宇宙の始まり「0(ゼロ)」について考える
- ③ ベイビードライバー
- ④ 最近見た中ではダントツこれ。音楽とあわさって練り広げられる展開がたまらない。
- ⑤ NGO団体で働き、紛争地域や発展途上国の人々の環境を良くしたい。

- ① さくらんぼ
- ② 楽器を吹く
- ③ えがないえほん
- ④ 絵がないことによる魅力がある。
- ⑤ 好きな人と幸せに過ごしている。

- ① しな\*
- ② 可愛い子を見ること
- ③ ママレード・ボーイ
- ④ おもしろいから
- ⑤ 可愛い犬と過ごしている。

- ① ミツパー
- ② ショッピング
- ③ ソロモンの偽証

- ④ 様々な思惑と意志が絡み合い、一つの事件の事実が紐解かれる感覚を楽しめるから。一年後には多分、受験に追われて好きな大学に行けるかな。二年後には、雲の上に乗って楽しむ。三年後は自分にあつた仕事を考えている。四年後、バリバ仕事を探して好きな仕事につきたい。ブライダルのお仕事。たくさんの幸せを皆からもらい、素敵な人と結婚したい。

生かすためにこそ  
神は万物をお造りになった。  
世にある造られたものは価値がある。  
知恵の書 一章 十四節より